

# ほのぼのせや

承認●瀬谷区第4号

<http://seyaku-shakyo.jp/>

## 令和4年度 瀬谷区ふれあい助成金 125団体に総額9,892,000円を助成しました。

この助成金は、みなさまからの賛助会費・共同募金・地域福祉推進基金などを活用して、地域福祉の活動を応援しているものです。(単位:円)

I. 要援護者支援区分		楽々金曜会 80,000		瀬谷第一あじさい会 50,000		瀬谷区手話サークル 杉の会 10,000	
街のつどいの広場 ほっとカフェ	300,000	ふれあいサロン左馬	80,000	瀬谷北部あじさい会	50,000	音声訳グループ つくしの会	50,000
グリーンカフェ	240,000	カフェ・スマイル	80,000	本郷あじさい会	50,000	アイの会	15,000
はつらつクラブ	180,000	楽者ハイソ自治会 楽者サロン	80,000	ゆるり瀬谷 ゆるり会	80,000	III. 福祉のまちづくり区分	
音楽のたまてばこ	120,000	サロンひだまり	80,000	いちごクラブ	80,000	国際交流Seya	40,000
サロンよってA	120,000	本郷サロン	80,000	ゆうスリー	80,000	にほんごせや	40,000
にこにこ会	120,000	みやざわ倶楽部	80,000	子育てサロンえむ	50,000	祇芝居 せや	40,000
マークサポート支えあい	120,000	おちゃっこ会	80,000	ひよごサロン	50,000	TEAMドルフィン	40,000
南台年寄りの会	120,000	あったかハート元気会	80,000	あくわキッズみなみ	30,000	楽老健見守り隊	40,000
一般社団法人 横浜すばいす	120,000	北新サロン	80,000	瀬谷第四地区女性のボランティア	180,000	二つ橋小学校はなさぼ	40,000
第一サロン	100,000	サロン「なかよし」	70,000	グループ・男の手貸します	160,000	特定非営利活動法人MIKS	40,000
ハンドメイドカフェ	80,000	サロンよってB	70,000	相沢助け合いの会	80,000	交流フェスティバル 実行委員会	30,000
健康長寿サロンピンコロ会	80,000	相沢ふれあいサロンI	60,000	三ツ橋地区サポーターズ生活支援グループ	90,000	瀬谷区発達障害理解啓発グループ ant mama	40,000
喫茶だんらん	80,000	サロンスプリングガーデン南瀬谷	50,000	配食サービス「たんほほの会」	300,000	ふれあいネットワーク	30,000
相沢ふれあいサロンII	80,000	サロン旭台	50,000	配食木曜の会	300,000	子育てサークル たんほほ	40,000
阿久和生利ハビリはまなすの会	80,000	認知症カフェ カフェD・せや	50,000	はあとの会	300,000	すくすくサークル	40,000
あやめ会	80,000	健康体操やまゆり会	50,000	配食サービス火曜の会	240,000	ピッコロ	23,000
歌声ラウンジ宮沢	80,000	M-Kサークル	50,000	配食サービスかしわ会	240,000	子育てサークル だるまの会	18,000
おどなり会	80,000	りひ	50,000	宮沢配食部会	160,000	瀬谷区傾聴ボランティア・えがお	40,000
カフェ・すずらん	80,000	ふれあいサロン下瀬谷	45,000	特定非営利活動法人 せや	350,000	横浜西アコーディオン愛好会	40,000
元気倶楽部	80,000	サロンスマイル	40,000	II. 障害児者支援区分		ウクレレ友協会	40,000
サロン「北の宿」	80,000	ハッピーダンス	40,000	ジャンプ	50,000	せやプラス	40,000
サロンふらっと宮沢	80,000	ふれあい健康サロン	40,000	ふらっとb	40,000	上瀬谷こどもれすとらん	30,000
サロン細谷戸運営委員会	80,000	ほっと三ツ境	40,000	ハッピーハッピー	40,000	IV. 健康増進区分	
サロン楽々	80,000	うたごえひろば	22,000	コアラの会	40,000	北新健康麻雀	10,000
南部にこにこサロン	80,000	下瀬谷こども食堂実施委員会	300,000	精神保健家族会 あじさいの会	60,000	いきいき健康本郷四丁目グランドゴルフクラブ	10,000
ひなた山サロン井戸端	80,000	ラッキー	80,000	瀬谷区視覚障害者福祉協会	60,000	町ぐるみ健康づくりの会	10,000
ふれあい音楽塾	80,000	このは会	80,000	瀬谷区聴覚障害者協会	40,000	歌王会	10,000
ほっとサロンゆうあい	80,000	宮沢ひまわり給食会	80,000	瀬谷区障害者団体連絡協議会	40,000	宮上ボッチャ同好会	10,000
ほのぼのサロン	80,000	みんなの食堂実行委員会	80,000	瀬谷区肢体障害者福祉協会	39,000	ゆるカフェ	10,000
モボ・モガ 喫茶	80,000	阿久和北部 子ども食堂 大カレーパーティー	50,000	ほっぺ	40,000		
ゆうぎりサロン	80,000	阿久和北部お楽しみ食事会	50,000	みんなの会	50,000		
ゆうゆうサロン富士見台	80,000	すみれ会	50,000	瀬谷区手話サークル さかいの会	50,000		

### 福祉教育

## 誰もが尊重され生活できる 地域づくりを目指して

福祉教育とは、学校教育に限らず企業や一般市民も含め、幅広く社会福祉について学習することです。

### 区社協の目指すこと

地域では、高齢者、障害のある方、介護をしている方、子育て中の方などが、様々な立場や環境の中で生活しています。そうした一人ひとりを地域で支えていくため、その人が何を課題と感じているのか、どう関わり何を支援してほしいのか、何ができるのかなどの個性を理解する取組を進め、支えあいの輪を広げることを推し進めています。

### 区社協の取組

地域や学校からの相談に応じ、プログラムの企画及び実施について、区内の関係機関・ボランティア等と協働でサポートしています。令和3年度は、発達障害理解講座(小学校7校、地区社協1地区)、視覚障害者講演(小学校3校)を実施しました。  
※新型コロナウイルスの影響で、やむを得ず中止となった学校もありました。

### 活動紹介

## 瀬谷区発達障害理解啓発グループ ant mama さん

知的、発達障害、自閉症などの障害のある子を持つ親で結成し、啓発活動をしています。



「発達の凸凹や感覚の違いを知ってほしい!」という思いから仲間と共に啓発し10年以上経ちます。令和3年度も中止をせざるを得ない時期もありましたが、先生方の感染防止対策のおかげで7校665名の児童さんにお伝えすることができました。

コロナ禍での伝え方を模索する中、別室を設けリモート配信することで、保護者も気兼ねなく参加できる形ができました。ピア相談事業では「コロナ禍での分散登校をきっかけに登校できた!」と聞くこともあり、こどもたちの柔軟さを実感。工夫し続けることが大切と教わりました。

さらに「ピンチをチャンスに! 減災共助の会」のメンバーと共に要援護者の新たな避難方法を模索していきたいです。

### ピンチをチャンスに! 減災共助の会

瀬谷区のSeya防災ネットワーク分科会に属し、何らかの手助けが必要な人や関係支援者など、日頃から連携、共に助け合うことで、災害による被害を出来るだけ小さくする取組「減災」を目指して活動しています。



## 瀬谷区ふれあい助成金 活動団体を訪問しました \* \* \* \* \*

### 「ゆるカフェ」～心も体もリフレッシュ～



この会は、令和3年度二ツ橋地域ケアプラザの自主事業「ニューAGEカフェ」が始まりました。その後、令和3年11月から自主グループとして立ち上がりました。元気で仲間と楽しい時間を過ごしたいとのことから運動で汗を流し、お茶を飲みながら楽しく情報交換などを行っています。



毎月1回の活動で団体名は「ゆるカフェ」ですが、実際は地域で活動をしている人がほとんどなので、さまざまな話題で話が弾みます。適度な距離感と明るい雰囲気での居心地が良いカフェです。7月はカローリングを楽しみ、他にも、ヨガやボッチャを行っています。

活動日 毎月第4木曜日(12月は休み) 14:30~16:30 参加費 500円/月 活動場所 二ツ橋地域ケアプラザ 地域活動交流担当 045(361)9807 申込み メンバー募集中!

**せやまる・ふれあい館**  
横浜市多機能型拠点こまち  
二ツ橋小学校  
シャローム三育保育園  
二ツ橋高等特別支援学校  
公園  
瀬谷  
中丸バス停  
相鉄線  
バスターミナル  
タクシー乗り場  
相鉄ライフ  
三ツ境駅  
りそな銀行  
厚木街道  
希望ヶ丘

**●アクセス**  
相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩約12分  
または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて「中丸」バス下車 徒歩約5分

**●駐車場**  
26台 ※障害者用駐車場2台  
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

**開所時間**  
■横浜市瀬谷区社会福祉協議会 月～金曜日/8:45～17:15  
■瀬谷区ボランティアセンター 月～土曜日/9:00～17:00  
■瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」 月～土曜日/9:00～21:00 日曜日・祝日/9:00～17:00(年末年始を除く)

**編集後記**  
一進一退が続く新型コロナウイルス感染症の拡がりの中、瀬谷区でも各地区のボランティア活動は一部自粛を余儀なくされてきました。人との接触が制限される中で、お年寄りの孤立化が深刻な問題となっており、あらためて人々との繋がりの大切さを私たちに教えてくれました。コロナ禍の終息は未だ見えない状況ですが、それぞれの地域が創意工夫して困難を乗り越えてきた活動は、大きな財産として次に繋げて行かれます。(彌登委員)

**広報委員会**  
委員長 ●水村 明(瀬谷第一地区社協)  
副委員長 ●浅見 昭男(瀬谷第四地区民児協)  
飯塚 陵子(ワークスわくわく)/彌登 章(瀬谷第四地区社協)  
鈴木 美幸(ほっぺ)

# 子どもは地域の宝物

ほのぼのせや  
特派員レポート



## 瀬谷第四地区 子育て支援 「よんたくん広場」 の活動!

地域のみんで協力し、それぞれの  
価値を認めながら、子どもの健やかな  
成長を見守るために、発足しました。



2016年から小学生を対象とした「楽しいイベントとおいしい食事」をモットーに「よんたくん広場」がスタートしました。ちなみに「よんたくん」は第四地区のマスコットキャラクターです。

コロナ禍で、みんなで集まることが難しく一時活動の中止を余儀なくされていましたが、再開にあたり感染防止対策として、参加者の事前申し込みで来場者数を把握し、学年ごとに振り分けて時間差による参加としました。さらに活動の内容によっては「イベント材料の持ち帰りのみ」や「屋外での開催」など、密にならずに楽しめる工夫をすることで、たくさんの子もたちの笑顔に出会うことができました。



**スタッフの感想** 再開後、初めての活動として、2021年8月「わりばしてっぼうを作ろう」を紹介します。1年半ぶりの開催に、スタッフもドキドキしましたが、感染防止対策をしっかりと取り、子どもたちに昔ながらの「わりばしてっぼう」の楽しさが伝わるよう会場に「試し打ちの的」を作りました。親子での参加者の中には、一緒に来られたお父さんの方が熱くなって試し打ちする姿がとても微笑ましく、改めてこういう活動が地域に必要なだと感じました。

また、以前行っていた子ども食堂「よんたくんカレー」は、食支援の一環として現在は「よんたくんの駄菓子屋さん」に形を変えて継続して、毎回多くの参加者で大盛況です。

コロナ禍が続く中、再開後の活動は1年間で7回となりましたが、新しい試みとして、地域に向けて活動内容を発信していくために、Instagramの活用を始めました。当日の活動の様子を含め、材料を持ち帰って作った成果品の写真を参加した子どもたちから送ってもらいInstagramにアップすることで「よんたくん広場」の活動にも一役買ってもらっています。同時に、参加者アンケートの結果や次回開催案内などもアップして紙情報と並行して発信しています。

コロナ禍での活動は制約も多く、ややもすると後ろ向きになりがちですが、今一度、地域における「よんたくん広場」の役割について皆で確認し合い、今後も子どもたちを巻き込んだ活動を進めて行きたいと考えています。(瀬谷第四地区 彌登委員)

## 今年も10月から赤い羽根共同募金運動が始まります



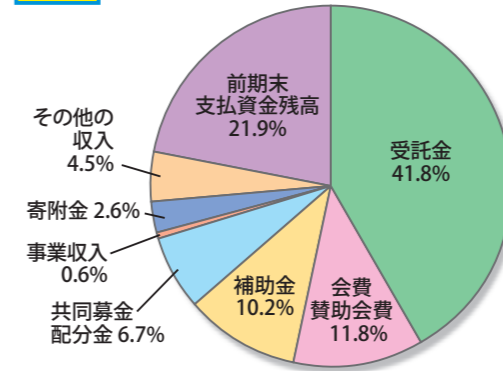
今年度のテーマは「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」です。神奈川県共同募金会で令和4年度のPR大使を務めるのはオグロワラビーのオハナです。オハナはハワイ語で「広義の家族」。血縁以外の親しい人たちも「家族的絆」で支えることを意味しています。瀬谷区では毎年子ども会のみなさんが募金に協力してくださっています。小さなお子さんにも親しみやすいようドラえもん募金箱を用意してお渡ししています。コロナの影響で、ここ数年は駅頭での募金活動は子どもたちと一緒にできていませんが、代わりに呼びかけの音声録音を保育園児に協力してもらったり、工夫をしています。集まった募金は瀬谷区をはじめ、神奈川県内の地域福祉のために使われています。今年度もみなさまのあたたかいご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



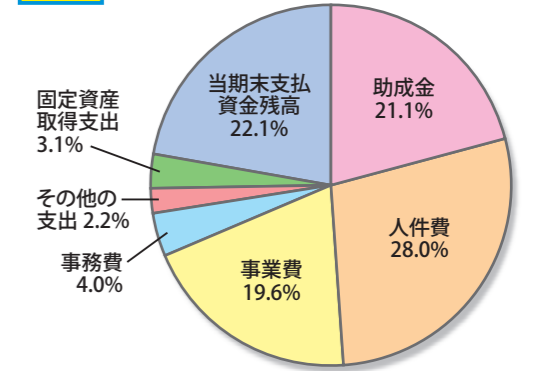
## 令和3年度 瀬谷区社協 決算報告

瀬谷区社協では皆様からのご協力により、様々な事業を展開しています。今後ともご支援のほどよろしくお願ひします。

**収入** 収入計 82,735,444円



**支出** 支出計 82,735,444円



## 移動情報センター ガイドボランティアの方にインタビュー

今年4月から「ガイドボランティア活動」をはじめた男性ボランティア猪狩さんにインタビューをしました。猪狩さんは現在、養護学校に通う高校生ゆうま君の朝の登校付き添いを週に3回しています。

### ガイドボランティアを始めたきっかけはなんですか？

私は、以前、求職者支援等の国民サービスを内容とした仕事をしていましたが、退職したらこれをやろう、これもやろうと何点か考え、その一つがボランティア活動でした。しかしながら、退職時にはコロナによる感染者が蔓延し、何も手に付かない日々を過ごしていましたが、コロナ感染者が減少した頃を見計らってネットでボランティアを検索したところ瀬谷区の社会福祉協議会が目に入り早々に登録をしたところでした。

### 実際に活動を始めてみて、どうですか？

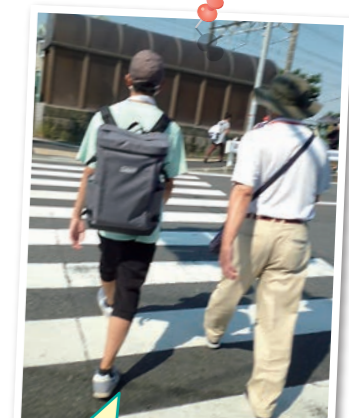
歩く速度が私より早いために途中途中で私を待っていて私の方が見守りされているように感じるときもありますが、並行して歩いているときには会話をしながら楽しく歩いています。

### やりがいや、大変なことはありますか？

朝の待ち合わせ場所で会ったときに「おはよう」、学校に着いたときには「行ってきます」、と大きな声で挨拶してくれるので何かしら役に立っているのかなと感じています。また、他の生徒にも「おはよう」と声をかけると、殆どの子供が大きな声で「おはよう」と挨拶を返してくれるので素直な子供が多いと感じていますし、やりがいを感じます。大変なことは特にないですが、この暑さには参りますね。

### これからガイドボランティアを始める人にメッセージをお願いします。

ボランティア活動は、支援を求める方がいれば支援をする方も必要になります。それが社会活動を循環するための一つではないかと考えます。無意識的な先入観に囚われることなく違った側面から「学ぶ」こともあるように思いますし、自分の活動が社会貢献に繋がっていると実感することもできるのではないのでしょうか。自分にできるボランティアは何だろうか、などと考えているより先ずは行動してみたいはいかがでしょうか。



ゆうま君からのメッセージ  
「ながいきしてください!」

**ガイドボランティアとは?** 横浜市独自の支援制度。障害者手帳を持っている方の通学や通所、買い物などの「移動」について、地域のボランティアの手を借りてすすめていくしくみです。ボランティア登録にあたり必要な経歴や資格は特になく、地域支援に手を貸して下さるあたたかいきもちがあれば、どなたでも活動できます。年間通じて区社協が企画する研修会や交流会をご案内します。ボランティアさんへは活動の回数に応じて、横浜市から奨励金が支払われます。詳細は・瀬谷区移動情報センター TEL:045-361-2202 FAX:045-361-2328

**講座告知** ボランティアセンター 「自分の魅力を再発見!」ボランティア入門講座

**日時** 10月25日(火)・11月1日(火)・8日(火) 全3回 各日13時30分～15時30分

**会場** せやまる・ふれあい館2F パートナーせや 多目的研修室

**【定員】** 20人(先着順) **【費用】** 無料 **【持ち物】** 特になし

**【内容】** 10月25日(火) ●「人生の棚卸!」～エンディングノートを書いてみよう!～  
11月1日(火) ●「自分の魅力を再発見!」～自分を引き出すきっかけを見つける～  
11月8日(火) ●「ボランティア活動のはじめの一步」～ボランティア活動の心構えを知ろう～  
3回連続講座 ボランティア活動に興味関心のある方、これからボランティアを始めたいと考えている方

**【講師】** 日本レクリエーション協会 倉岡 弘叔氏 / 地域包括支援センター 社会福祉士

**【申込み方法】** 電話にて受付 045(361)2117